Shizu tetsu
街にいろどりを。人にときめきを。

NEWS RELEASE

静鉄グループニュースリリース

2026 年 11 月 16 日

静岡市葵区鷹匠一丁目1番1号
静 岡 鉄 道 株 式 会 社

静鉄グループ 2026 年度 中間連結決算概況について

◇中間連結決算概況

当中間連結会計年度においては、自動車販売事業の新車販売台数が増加したことや、大阪・関西万博の特需があった前期からの反動はあったものの、稼働率・客室単価ともに前期を上回り好調を維持したビジネスホテル事業、レンタカー・リース事業では国内レジャー需要および法人リース市場が好調であることなどから、当中間会計年度における売上高は増加し、948 億 44 百万円(前中間期比:2.7%増)となりました。

利益面では、各事業売上高の増加に伴い粗利益は増加いたしましたが、中東情勢の影響によるエネルギー関連費用や石油関連商品価格の高騰、人件費および金利上昇に伴う支払利息の増加などもあり、営業利益は 34 億 18 百万円(前中間期比:3.7%減)、経常利益は 33 億 4 百万円(前中間期比:2.2%減)、中間純利益におきましては 24 億 15 百万円(前中間期比:6.1%減)となりました。

なお売上高は 3 期連続で中間連結決算の過去最高を更新いたしました。

◇2027 年 3 月期の見通し

2027 年 3 月期の業績予測につきましては、中間連結決算増収要因に加え、広告代理店業では大口案件・新規案件の獲得により増収を見込んでいることなどから売上高は 1, 904 億 54 百万円(前期比:0.1%増)を見込んでおります。

一方利益面では、中東情勢の影響に伴うエネルギー関連費用や石油関連商品価格の高騰、最低賃金の上昇等に伴う人件費の増加、金利の上昇に伴う支払利息の増加によりコストが増加することを見込んでおります。

なお、2027 年 3 月期の業績予測につきましては売上高で過去最高を見通しております。

当社グループは、今後もお客様に安全・安心・快適をお届けする為の取り組みをグループ全体で推進するとともに、生活ニーズの多様化に応える事業活動を実施してまいります。

以上

＜添付資料＞

・静鉄グループ 2026 年度中間連結決算 事業セグメント別概況
・静鉄グループ 2026 年度中間連結決算指標

この件のお問い合わせは下記へお願いいたします	
経営管理部 □ｸﾞﾙｰﾌﾟ事業課:古川(ふるかわ)、本多(ほんだ) □直 通 電 話:(054)254－5116 □F A X:(054)273－0658 □E メ ー ル:group@shizutetsu.co.jp	総務部 □総 務 課:大石(おおいし) □直 通 電 話:(054)254－5129 □F A X:(054)255－8816 □E メ ー ル:stksoumu@shizutetsu.co.jp

（添付資料）

静鉄グループ 2026 年度中間連結決算　事業セグメント別概況

当社グループは、交通事業、流通事業、自動車販売事業、不動産事業、レジャー・サービス事業、建設事業の 6 つの事業セグメントで構成されています。事業セグメント別の概況は以下のとおりです。

・交通事業

交通事業の営業収益は、77 億 11 百万円(前中間期比 2.6%増)となりました。

鉄道事業では、2026 年４月から６月にかけて静岡県立美術館開館ならびに静鉄電車 県立美術館前駅開業 40 周年を記念した「アートスタンプラリー」の開催により沿線の盛り上がりに努めたほか、2026 年５月には長沼車庫内での列車の出庫点検見学、車内放送の業務体験、現役運転士との座談会などを実施した「静鉄 電車教室」を開催するなど鉄道の魅力発信に努めました。輸送人員は 5,775 千人(前中間期比 1.7%増)となり、前中間期と比べて旅客運輸収入が増加しました。

索道事業の日本平ロープウェイにおいては、インバウンドやクルーズ船等の団体客は減少したものの、一般旅客の利用が好調に推移したことにより前中間期と比べて旅客運輸収入が増加しました。

乗合バス事業のしずてつジャストラインでは、持続可能な公共交通の実現に向けた取り組みとして、静岡県内初となる連節バスを 2026 年 4 月より運行開始いたしました。また、夏山、山登り、山岳トレッキングを楽しむ方へ向け、2026 年７月から８月まで、JR静岡駅から畑薙臨時駐車場を結ぶ「南アルプス登山線」を期間限定で運行しました。

輸送人員は 14,096 千人(前中間期比 1.4%増)となりましたが、自主運行路線の減少等により前中間期と比べて乗合運送収入は減少しました。

・流通事業

流通事業の営業収益は、240 億 47 百万円(前中間期比 0.1％減)となりました。

スーパーマーケット事業の静鉄ストアでは、2026 年４月に焼津市初出店となる「しずてつストア 焼津三ケ名店」を開業したほか、北千住マルイや JR 横浜駅にてポップアップ販売を実施したことに加えて、台湾・台北駅にもポップアップストアを出店しました。

また、PB 商品の拡販や販促強化に努めることで、前中間期と比べて店舗売上が増加しました。

食堂売店事業の静鉄リテイリングでは、北海道のあんこ菓子と静岡県のお茶を提供するカフェ＆ショップ「あんと茶と」の２号店となる「あんと茶と あざみ野店」を 2026 年７月 神奈川県横浜市青葉区あざみ野にオープンする等、県外での売上増加に努めました。

・自動車販売事業

自動車販売事業の営業収益は、499 億 81 百万円(前中間期比 8.1%増)となりました。

自動車販売事業のトヨタユナイテッド静岡では、2026 年９月に新静岡セノバにて電気自動車「bZ4X」を展示し、ショッピングセンターでの情報提供を実施しました。

新車販売台数は 8,404 台(前中間期比 549 台増)となり、販売台数の増加などにより新車売上は増加しました。中古車販売台数については、5,150 台(前中間期比 429 台減)となり、販売台数の減少などにより中古車売上は減少しました。

自動車リース事業のトヨタレンタリース静岡では、レンタル売上は減少したものの、保有台数の増加に伴い、法人リースが好調に推移したことから、前中間期と比べてリース売上が増加しました。

・不動産事業

不動産事業の営業収益は、52 億 38 百万円(前中間期比 18.1%減)となりました。

不動産販売事業では、2026 年4月に「静鉄不動産　沼津店」を移転し「静鉄不動産　三島店」としてリニューアルオープンしました。また、新築建売住宅においては「エバースクエア大岩三丁目」ほか 2 物件が好評のうち完売、買取再販物件の販売も好調に推移いたしました。
ショッピングセンター事業の静鉄プロパティマネジメントでは、新静岡セノバ5階の催事スペース「セノバひろば」において、「ポケモンセンター出張所」や「ディズニーフラッグシップ東京ジャパンツアー」を実施したほか、沿線イベントとタイアップをした「セノバ夏祭り」等、各種イベントを開催するなど、賑わい創出に努めました。

・レジャー・サービス事業

レジャー・サービス事業の営業収益は、59 億 10 百万円(前中間期比　1.8%減)となりました。

ビジネスホテル事業では、プレジオ静岡駅北のリニューアル工事に伴う段階的な客室販売停止や中国政府の渡航制限発表に伴う中国人団体旅行者数の減少など、マイナスとなる要素があったものの、効果的な価格コントロールやクーポン等を利用した需要喚起策により国内需要をうまく取り込めたことで「稼働」・「客室単価」を高水準に維持することができました。
その結果、「プレジオ沼津」や「プレジオ博多駅前」では単月の過去最高売り上げを記録したことから、前中間期と比べて売上が増加しました。

・建設事業

建設事業の営業収益は、19 億 54 百万円(前中間期比 7.2%減)となりました。

建設事業の静鉄建設では富士駅北口第一地区第一種市街地再開発事業　令和 7 年度　既存建築物解体工事などを実施しました。

2026年11月16日

2026年9月期　中間連結決算指標

◆連結決算概要

（単位：百万円、%）

	2026年9月 中間	2025年9月 中間	前中間期比	
			増減額	増減率
営業収益	94,844	92,351	2,492	2.7
営業利益	3,418	3,548	△ 129	△ 3.7
経常利益	3,304	3,379	△ 74	△ 2.2
親会社株主に帰属する中間純利益	2,415	2,572	△ 157	△ 6.1

◆セグメント別営業収益

	2026年9月 中間	2025年9月 中間	前中間期比	
			増減額	増減率
営業収益	94,844	92,351	2,492	2.7
交通事業	7,780	7,580	199	2.6
流通事業	24,275	24,324	△ 49	△ 0.2
自動車販売事業	50,491	46,705	3,786	8.1
不動産事業	5,673	6,791	△ 1,117	△ 16.5
レジャー・サービス事業	6,663	6,706	△ 42	△ 0.6
建設事業	2,555	3,962	△ 1,406	△ 35.5
内部消去	△ 2,596	△ 3,718	1,122	－

◆セグメント別営業利益

	2026年9月 中間	2025年9月 中間	前中間期比	
			増減額	増減率
営業利益	3,418	3,548	△ 129	△ 3.7
交通事業	△ 124	△ 230	105	－
流通事業	△ 29	316	△ 346	－
自動車販売事業	2,596	2,142	454	21.2
不動産事業	480	823	△ 343	△ 41.7
レジャー・サービス事業	457	532	△ 75	△ 14.1
建設事業	△ 6	73	△ 80	－
内部消去	44	△ 111	155	－

※金額は百万円未満を切り捨て表示